株式会社商事法務　主催
債権管理実務研究会 特別セミナーのご案内

中堅・中小企業における企業リスク管理の実践知

～法務・登記・保険・調査の専門家の知見と対話から探る、企業リスクへの備えと対応力～

▶世界経済の不透明感がかつてないほど高まる中、企業経営を取り巻くリスクも多様化・複雑化の一途をたどっています。米中摩擦の激化、為替や資源価格の乱高下、地政学的リスクの長期化に加え、国内においても物価・金利の上昇、人手不足、資材高騰などの課題が重なり、中堅・中小企業を中心に倒産件数は上昇傾向にあります。

▶こうした状況下で、企業にとって課題の一つが「コンプライアンス」への対応です。コンプライアンスとは単に法令を守るという意味にとどまらず、企業が社会的信頼を得て持続的に成長していくための「経営の質」を問うものとなっています。内部統制やリスクマネジメント、反社チェック、粉飾決算・循環取引などの企業不正など、幅広い分野においてコンプライアンスの重要性が増している今、求められるのは、現場で実際に使える実践知と、多様なリスクに対応できる柔軟な視点です。

▶そしてもう一つ、多くの企業が悩むのが、「自社でコンプライアンス研修をどこまで、どのように実施すべきか」という具体的な取り組み方です。形式的な対応で終わらせるのではなく、実効性ある教育体制を構築するには何が必要なのか――本セミナーでは、その問いに対しても、各分野の専門家が多角的にアプローチし、模索する場とします。

▶本セミナーでは、「企業リスク管理」をテーマに、複数の視点から経営の安全性と信頼性を多角的に見つめ直します。法務、登記、保険、調査といったそれぞれの専門分野から、リスクの見極め方、備え方、そして日常業務や教育体制にどう落とし込むべきかを、専門家との対話を通じて深掘りしていきます。

主要講義項目（詳細な項目はHPをご確認ください）

パート①　ここまで押さえれば大丈夫　「中小企業」のコンプライアンスの勘所

大企業に比較して、様々なリソースが不足しがちな中小企業において、経営やビジネスのスピードを維持しつつ、小規模法務で「中小企業に適した」適切なコンプライアンス体制を構築・運用するためのポイントと基本的手法を解説します。事業と組織が安定して発展する土台を作るために、中堅・中小企業が行うべき具体的対応についての理解を深めます。

パート②　データから見る金融動向と企業倒産。今後対応すべきリスク

金融動向や企業倒産の兆候を、調査現場の視点とデータから見ることで、信用力の変化をどう見抜くかを解説します。中小企業が実務で活用できるリスクの見極め方に加え、社員教育や社内体制に取り入れるべきチェック観点も具体例を交えて紹介します。

パート③　登記の落とし穴～中小企業の信用と継続を守るリスク管理～

登記は企業の信用と継続に直結する重要な情報資産であり、その実効性は適切な法務手続を前提とします。中堅・中小企業においては、登記の遅れや手続の不備が、思わぬ信用低下や資金調達リスクを招くことも。本セッションでは司法書士の視点から、登記に関わる実務の留意点と、経営を支える情報管理のポイントを具体的に解説します。

パート④　情報から見る企業の実態

企業の実態を見極めるには、財務指標だけでなく、調査現場で得られる定性情報の活用が欠かせません。本セミナーでは、中小企業における反社チェックや信用評価、倒産リスクの兆候を、具体的な情報の読み解き方から解説。社員教育や社内体制に活かせるチェック観点も紹介します。

対談企画　社員・取引先・経営者を守る！中堅・中小企業のための"現場で機能する"コンプライアンスの仕組みづくり

これまでの各パートで提示された専門知見（法務、金融動向、登記、調査情報）をふまえ、最終セッションでは、それらをどう実務に落とし込み、中堅・中小企業の現場で実際に機能する「コンプライアンス体制」や「リスク管理の仕組み」を構築するかをテーマに、分野横断で議論します。

講　師　田中 雅敏 弁護士・弁理士（明倫国際法律事務所）
講　師　原野 太志 氏（株式会社　東京商工リサーチ　福岡支社）
講　師　小野 絵里 司法書士（プレイドリーガル司法書士事務所）
講　師　井出 豪彦 氏（東京経済株式会社　取締役東京本部長）
講　師　白井 亮隆 氏（丸紅セーフネット株式会社　九州支店長）

開催日時　11月14日（金）13時30分～17時（申込期限：11月４日（火）12 時）

会　　場　ONE FUKUOKA CONFERENCE HALL　Terrace Room
（〒810-0001 福岡市中央区天神1-11-1 ONE FUKUOKA BLDG.6F）

受講料　無料（１社３名まで参加可能）

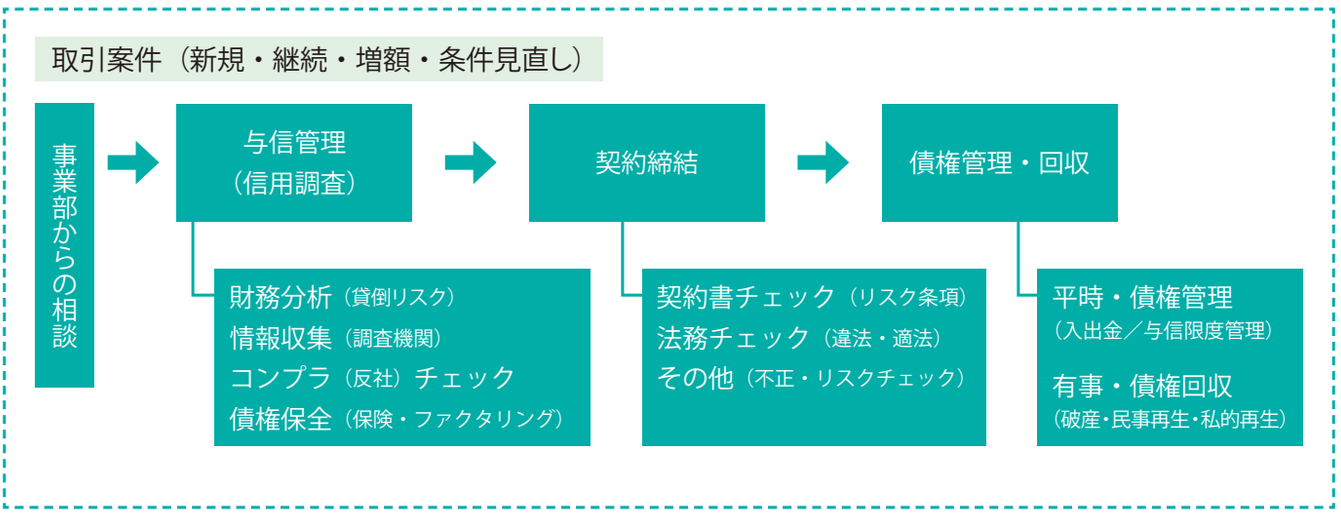
WEB申込

債権管理実務研究会

Credit Management Practice Study Group

リスク管理部門の課題解決のために

債権管理実務研究会は、株式会社商事法務が主催する会員組織で、1982年に設置。現在約200社が加入。第一線の実務家をはじめ、多様な講師陣によるセミナーや会員相互の交流会を通じて、与信管理・債権管理・法務・財務・コンプライアンス・リスクマネジメントの担当者の教育・研鑽の場を40年以上提供し続けています。人材育成のためにセミナーサブスクリプションサービス（年間120時間以上）としても、1社単位でさまざまな部門でご活用いただけます。



国内外／投融資案件／規程の見直し・整備／テック導入／教育研修／法律・会計基準改正

上記のようなビジネスフローの中でリスク管理部門はさまざまな知識・見識を常にアップデートしないといけません。そこで取引から投融資までビジネスにかかる幅広い業務に関連する実務ポイントをセミナーやグループワーク・懇談会などを通じてご提供しております。

2025年９月　注目のテーマ

海外取引先の与信管理の基礎　〔保阪賀津彦 氏（三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング㈱　コンサルティング事業本部国際業務推進本部国際アドバイザリー事業部　副部長）〕

法的視点で解説　AI導入・利活用の実務ガイド～中堅・中小企業でも始められるAIガバナンスとリスク対応～

〔殿村桂司 弁護士／小松　諒 弁護士（長島・大野・常松法律事務所）／佐久間弘明 氏（一般社団法人AIガバナンス協会 業務執行理事 兼 事務局長）〕

古くて新しい！？　循環取引をめぐる裁判例動向と企業の管理体制の在り方～開示検査事例集も紐解きながら～

〔遠藤元一 弁護士（東京霞ヶ関法律事務所）〕

◆特別パネルディスカッション◆先例から学ぶ　企業不祥事への備え～『企業不祥事インデックス』を紐解きながら～

〔上谷佳宏 弁護士（弁護士法人東町法律事務所）／竹内　朗 弁護士・公認不正検査士（プロアクト法律事務所）etc〕

全国会員のサービス概要および会費のご説明（その他の会員区分等の詳細はP8ないし弊会HPをご確認ください）

セミナー	50テーマ・120時間以上	アーカイブ動画	常時30本（60時間）以上のセミナーをいつでもどこでも視聴可能
会員懇談会	東京・大阪エリアで年間6回以上、テーマ・階層別等を開催（対象エリアも名古屋・福岡等にも展開しています）		
入会金/年会費	３万円／20万円（税別）	トライアルプラン	３万円（税別）／１か月

ご不明な点は下記までお問い合わせください　《トライアル参加》　《ご入会》

問合せ先
株式会社商事法務　債権管理実務研究会事務局
〒103-0027東京都中央区日本橋3-6-2　日本橋フロント3階
EMAIL：saiken-kanri@shojihomu.co.jp
TEL：03-6262-6764／FAX：03-6262-6802　URL：https://saiken.shojihomu.co.jp

債権管理実務研究会　会員構成（2025年8月現在）

地理的分布
関東地域　74%
関西地域　23%
中部地域　3%

業種
製造業　57%
商　社　30%
金　融　8%
その他　5%
（建設・組合）

ご入会会社の窓口部門名（4系統）

	審査部 リスクマネジメント部	法務部 法務審査部	財務部／経理部 経営企画部／監査部	管理部／総務部 業務部／営業管理部
本研究会の入会比率	35%	35%	15%	15%
	審査業務が8割以上	審査とそれ以外が半々程度	経理・財務畑 審査業務は3－4割	審査業務は2割弱
	大規模審査（10名以上） 毎年事業部からの異動・新人が入るため基礎的な内容のニーズ有	中規模の審査（3－10名） 財務会計分野に苦手意識があり、会計系のセミナーニーズ有	小中規模審査（1－5名） 複数名所属しているか、審査業務の専業であるケースは少ない。 財務会計経験は豊富であるが、与信・法務的な経験が少なく、ニーズ有、財務系の新人は毎年入社するので、会計の基礎講座にのニーズ有	小中規模審査（1－5名） 複数名所属しているが、審査業務の専業であるケースは少ない。 兼務業の比率が高く、専門性が高すぎると理解が追い付かない、難しすぎるとのコエ有 企業の審査実務を聞きたいというニーズ有
ニーズ	中規模審査（3－10名） 業務が多岐にわたり、審査以外の業務のニーズ有	小規模審査（1，2名） 業務が多岐にわたり、審査以外の業務のニーズ有		

イベント一覧（一部抜粋）

与信管理・信用調査

現役審査課長が伝える与信管理の基本と実践
〔講 師〕大黒高彬（ＪＦＥ商事㈱）

『【審査】と【与信管理】』銀行の融資審査と事業会社の与信管理の違い
～融資審査を与信管理にどのように活かすか～
〔講 師〕原　宏孝（大丸興業㈱）

企業情報の活用方法～信用調査報告書をどう読み解くか～
〔講 師〕藤井　俊（㈱帝国データバンク 情報統括部長）

倒産状況と今後の見通し　〔講 師〕友田信男（㈱東京商工ﾘｻｰﾁ　常務取締役）

信用調査レポート／D&Bレポートの読み方・活用方法
～国内倒産状況とカントリーリスクを交えて～
〔講 師〕林　浩太郎／篠田綾子／酒井麻耶（㈱東京商工リサーチ）

〔会員懇談会〕反社チェックの心得と実践
〔講 師〕井出豪彦（東京経済㈱　取締役東京本部長）

現場目線の与信管理～倒産件数が増加している原因は、債務者心理の変化にある～
〔講 師〕川野雅之（㈲川野コンサルティング）

〔実務講座〕海外取引先の与信管理の基礎
〔講 師〕保阪賀津彦（三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング㈱）

取引信用保険とファクタリング～最近の信用保険情勢を踏まえた効果的・効率的活用方法
〔講 師〕柏瀬　愛（東京海上日動火災保険㈱）／横山良史・仲原大輔（ﾜｰﾙﾄﾞｲﾝｼｭｱﾗﾝｽｸﾞﾙｰﾌﾟ）

債権回収・倒産・契約・法律

初心者のための債権管理・回収 入門講座～重要ポイントを中心に勘所を養う～
〔講 師〕権田修一 弁護士（東京富士法律事務所）

破産管財実務を踏まえた取引先が破産したときの対応のポイント
〔講 師〕清水良寛 弁護士（弁護士法人淀屋橋・山上合同）

アメリカ倒産法概説講座
〔講 師〕藤 浩太郎 弁護士（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業）

仕入先とのトラブル対応と管理の視点
〔講 師〕川畑真治 弁護士／佐山寧秀 弁護士（法律事務所三ツ星）

経理・財務・監査・審査・法務のための改正リース会計基準の影響と実務対応
～リース契約を紐解きながら～
〔講 師〕加藤建治（公益社団法人リース事業協会 常務理事 事務局長）

契約交渉の要点～提案された契約書案を的確に修正する技法～
〔講 師〕太田大三 弁護士（丸の内総合法律事務所）

実務 登記法入門　〔講 師〕鈴木龍介 司法書士（司法書士法人鈴木事務所）

実務で活かす！工場地における不動産鑑定・評価の最新動向と模擬実演
〔講 師〕松岡貴史 不動産鑑定士（総合都市鑑定㈱）

民事裁判実務と訴訟リスクのマネジメント
～いまだに絶えない「循環取引」事案をもとに～
〔講 師〕三村義幸 弁護士（堂島法律事務所）

財務分析・会計・税務・金融

経営分析のための計算書類・財務諸表の読み方・分析の基礎講座
〔１．財務会計コース〕（講師会社：EY 新日本有限責任監査法人）
〔講 師〕久保慎悟 公認会計士／大竹勇輝 公認会計士
〔２．税務会計コース〕（講師会社：(KPMG 税理士法人）〔講 師〕山本秀人 税理士
〔３．管理会計コース〕（講師会社：デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社）
〔講 師〕宮田拓海 米国公認会計士／大西 諒 米国公認会計士
荻野ななみ 米国公認会計士／柳井崇幸 公認会計士

与信管理のための財務分析手法と実務上の留意点〔全２回〕
〔講 師〕伊庭壮太郎 公認会計士（伊庭壮太郎公認会計士事務所）

財務分析の基礎のその手前
～基本的な会計知識から財務諸表の基本的な見方、実務ですぐに使えるスキルを習得～
〔講 師〕喜多弘美 公認会計士（喜多弘美公認会計士・税理士事務所）

審査担当者のための企業分析の実務ポイント～情報の活かし方の勘所～
〔講 師〕林　裕司（㈱リコー）

プロジェクトファイナンスの基礎と実務〔全２回〕
〔講 師〕細井文明 弁護士／島﨑 哲 弁護士／本郷真弓 弁護士
（渥美坂井法律事務所・外国法共同事業）

金商法の基礎知識と類型別財務制限条項の活用法
〔講 師〕中村慎二弁護士（アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業）

総合解説・会社法決算書の基本と実務
〔講師〕太田 達也　公認会計士（太田公認会計士事務所）

リスクマネジメント・その他

AI活用の落とし穴～業務フロー再設計と与信限度額の基本的な考え方を中心に～
〔講 師〕牧野和彦（ナレッジマネジメントジャパン㈱）

ゼロから学び直す 投融資の基本とリスクテイクの実務感覚
～出資・提携・M＆Aをどう選び、どのようなリスクをどう取るか～
〔講 師〕島村哲生／川手直子／清水昂星
（三菱UFJリサーチ＆コンサルティング㈱　ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ部）

取引先の事業承継とM&A　〔講 師〕溝渕雅男　弁護士（共栄法律事務所）

事例から学ぶ　スタートアップとの事業連携／出資・M&Aの法務・リスクポイント
〔講 師〕山口敦史弁護士／小松　諒弁護士（長島・大野・常松法律事務所）
企業の真価を見抜け！

数字・保険・倒産から読み解く、3 つのプロ視点で探るリスクの本質
〔講 師〕大隅真志（㈱帝国データバンク名古屋支店情報部長）
髙橋　透／岡田昇祥（㈱日本貿易保険　大阪支店）
伏木貞彦／小川紀久子（有限責任 あずさ監査法人）
木村憲司（丸紅セーフネット㈱名古屋支店長）

商業登記規則改正と会社謄本を使った信用調査方法
～反社会的勢力や不良債権先を見極めるために～
〔講 師〕中村勝彦（㈱東京エス・アール・シー）

先例から学ぶ　企業不祥事への備え～『企業不祥事インデックス』を紐解きながら～
〔講 師〕上谷佳宏弁護士（弁護士法人東町法律事務所）
竹内　朗弁護士（プロアクト法律事務所）etc

〔会員懇談会〕わが社における審査部門の審査事例

入会のご案内

会社単位でご入会、複数の部門・担当者で幅広くご活用いただけます

債権管理実務研究会は、法人単位でご入会いただく形となっており、ご入会後は同一法人内であれば複数の部門・担当者様に幅広くご参加いただけます。例えば審査部門以外にも営業部門や経理・財務部門、法務部門、購買部門など、与信管理や債権管理に携わるあらゆる部門で、最新の実務知識やノウハウを共有・習得する機会としてご活用ください。特にWEBセミナーでは人数制限なくご参加可能ですので、全社的な研修や人材育成にも最適です。

ご入会のメリット

1　月例会・会員懇談会に何度でも無料参加（年会費のみ）

プレミアム会員は月4～7回（同約140～150時間）、全国会員は月3～6回（同約120時間）、大阪会員は月2回（同約60時間）の月例会と東京・大阪等で開催している会員懇談会に年会費のみで何度でもご参加可能です（注1）。

（注1）ご入会された区分以外の月例会にはご出席できません。

2　豊富な分野にわたる年間120時間超のプログラム（主要テーマ）

幅広い主要４テーマ（以下）を年間を通じて体系的に学べ、担当者のスキル向上、人材育成、組織力の強化にお役立ていただけます。

①与信管理・信用調査（35時間）／②財務分析・会計・税務・金融（30時間）

③債権回収・倒産・契約・法律（35時間）／④リスクマネジメント・その他（20時間）

毎年必ず開催しているテーマとしては、信用調査レポートの読み方／登記・不動産評価／倒産動向／カントリーリスク／国内外の与信実務／取引信用保険・貿易保険・ファクタリング／訴訟・反社チェックなどがございます。

3　さらにこんな特典も

- 法人単位の登録のため、通常の月例会は1社あたり3～4名程度まで同時に会場参加可能（WEB参加は人数無制限）。
- プレミアム会員・全国会員は、会員限定アーカイブ動画（常時20～30テーマ）もご利用いただけます。
- プレミアム会員は、商事法務ビジネス・ロー・スクールのセミナー（年間20～30時間分、約35万円相当）を無料で受講可能。
- 全国会員・大阪会員も同スクールセミナーを会員特典価格で受講可能。
- プレミアム会員は、必要に応じ追加ID（1ID/1万円）で部門・拠点単位での管理も柔軟に対応可能。

会員区分別のサービスと会費のご案内

区分	月例会参加	アーカイブ動画(注2)	商事法務ビジネス・ロー・スクール	会員ID数
プレミアム会員	年間140-150時間以上	あり	対象セミナー無料受講（年間20-30H）	3 ID（追加可）
全国会員	年間120時間以上	あり	対象セミナー割引受講	1 ID
大阪会員	年間60時間程度	なし	対象セミナー割引受講	1 ID

（注2）アーカイブ動画とは、過去に配信したセミナーを長期間（セミナーによって配信期間は異なります）申込みをせずに視聴可能なセミナーが、常時20本以上ございます。

入会金（税込）	年会費（税込）
33,000円	プレミアム会員 330,000円
	全国会員 220,000円
	大阪会員 132,000円

入会は随時受付いたします。会員資格は入会時より1年ごとに更新となります。なお、原則として、会員は法人に限らせていただきます。

トライアル制度について

《①WEB申込》

①１か月限定トライアルプラン

「試しにサービスを利用してみてから入会を検討したい」「年会費だと社内申請が通らないため単月でまずは試したい」などのお声にお応えするため、この度、債権管理実務研究会では、1か月限定のトライアルプランを新設いたしました。「全国会員」（年間120時間セミナーを開催）と同様のサービスを1か月間ご利用いただけるプランです。期間中は、法人内であれば複数名のご利用も可能。実務に直結するテーマを扱った講座や、常時20～30本配信されているアーカイブ動画をご自由にご視聴いただけます。

◆利用期間：1か月（ご希望の期間）※複数月の利用は不可　◆ご利用料金：33,000円（税込）／1社　◆特典：トライアル後の会員申込みの際には、入会金免除

2025年９月　トライアル可能な注目セミナー

民事法入門～ビジネスパーソンとして押さえるべき最低限のポイントと実務との関連～　〔窪田三四郎弁護士（西村あさひ法律事務所・外国法共同事業）〕

類型別　取引リスク分析基本講座（全４講、７回）　〔本多広和弁護士（阿部井窪片山法律事務所）／荒井康弘弁護士（丸の内総合法律事務所）／山根 航太弁護士（虎門中央法律事務所）／猿倉健司弁護士（牛島総合法律事務所）〕

英文契約書から考える契約書の基本と実務　〔長谷川良和　弁護士／酒井嘉彦　弁護士（長島・大野・常松法律事務所　シンガポール・オフィス）〕

英文財務諸表の見方・分析のポイント　〔津田 宗一公認会計士／小川 紀久子公認会計士／松岡真吾公認会計士（有限責任 あずさ監査法人）〕

《②WEB申込》

②特別セミナーのご利用

入会ご検討の検討のため、もしくは入会はできないが単発のセミナーとして受講したい等のご希望に対応した会員外の皆様にもご参加いただける特別セミナー（有料）制度がございます。

ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください

《ご入会WEB申込》

問合せ先

株式会社商事法務　債権管理実務研究会事務局

〒103-0027東京都中央区日本橋3-6-2　日本橋フロント3階

EMAIL：saiken-kanri@shojihomu.co.jp

TEL：03-6262-6764／FAX：03-6262-6802　URL：https://saiken.shojihomu.co.jp